【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和1年11月7日(2019.11.7)

【公開番号】特開2019-122778(P2019-122778A)
【公開日】令和1年7月25日(2019.7.25)
【年通号数】公開・登録公報2019-030
【出願番号】特願2019-19711(P2019-19711)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　5/05　(2006.01)
Ｇ１６Ｈ　20/00　(2018.01)
Ｇ１６Ｈ　20/60　(2018.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　5/05　Ｂ
Ｇ１６Ｈ　20/00
Ｇ１６Ｈ　20/60

【手続補正書】
【提出日】令和1年9月25日(2019.9.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の異なる筋指標の変化を示す変化情報を取得する変化情報取得部と、
前記変化情報に基づいて、筋が衰える過程を示すステージを判定する判定部と、
を備える筋状態変化判定装置。
【請求項２】
前記変化情報は、複数の異なる筋指標のそれぞれにおける過去値と今回値とに基づく、前記筋指標の変化率である、請求項１に記載の筋状態変化判定装置。
【請求項３】
前記複数の異なる筋指標は、判定対象者の荷重および生体インピーダンスの少なくとも一方に基づいて算出される、請求項１又は請求項２記載の筋状態変化判定装置。
【請求項４】
前記判定対象者の荷重を測定する荷重センサおよび生体インピーダンスを測定する生体インピーダンス測定回路を備える、請求項３に記載の筋状態変化判定装置。
【請求項５】
前記判定部は、前記変化情報により示される前記複数の異なる前記筋指標の変化率が所定値より低下しているか否かの判定結果の組み合わせによって前記ステージを判定する、請求項１から請求項４のいずれか一項に記載の筋状態変化判定装置。
【請求項６】
前記ステージは、神経的要因により筋力が低下する第１ステージ、筋萎縮が生じて筋質が低下する第２ステージ、筋量が減少する第３ステージ、筋パワーが低下する第４ステージである、請求項１から５のいずれか一項に記載の筋状態変化判定装置。
【請求項７】
前記変化情報は、筋力の変化率、筋パワーの変化率、筋質の変化率、及び筋量の変化率である、請求項１から６のいずれか一項に記載の筋状態変化判定装置。
【請求項８】

前記判定部が判定した筋が衰える過程を示すステージに基づいて対策を決定する対策決定部を備える、請求項１から請求項７に記載の筋状態変化判定装置。

【請求項９】

複数の異なる筋指標の変化を示す変化情報を取得する変化情報取得ステップと、

前記変化情報に基づいて、筋が衰える過程を示すステージを判定する判定ステップと、

を備える筋状態変化判定方法。

【請求項１０】

コンピュータに、

複数の異なる筋指標の変化を示す変化情報を取得する変化情報取得ステップと、

前記変化情報に基づいて、筋が衰える過程を示すステージを判定する判定ステップと、

を実行させるためのプログラム。